

香春町立香春思永館（しえいかん）



外観

福岡県香春町では、町内にあるすべての小中学校6校を統合して、2021（令和3）年4月に9年制の義務教育学校を開校。正門のメイン動線は児童生徒、教職員が毎日出会い、交流できる「ふれあいモール」として計画された。

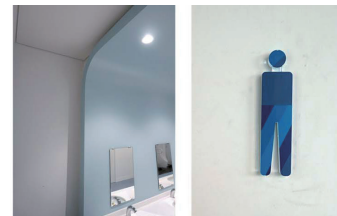


1F北 トイレ入口

トイレ入口脇にベンチを設置することで、ランドセルや移動教室時の荷物をトイレ内に持ち込まないようにすることができるとともに、児童生徒同士のコミュニケーションの場としても活用される。



1F北 男子トイレ 全体



学校にまだ慣れない低学年が使用する1Fは、トイレ内装を淡いカラーでコーディネート。壁面の意匠もカーブを作ることによって「楽しく、やわらかい雰囲気」を演出している。

1F北 男子トイレ
小便器・大便器コーナー

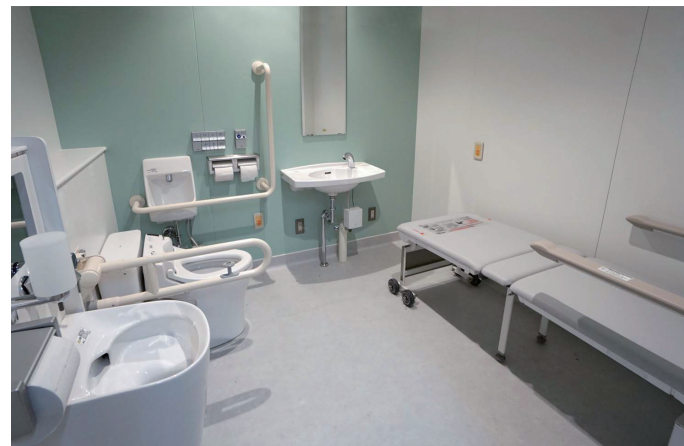
フラッシュバルブ式同様の連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。連続洗浄可能により、限られた休み時間でも使用しやすく、混雑緩和にも繋がっている。

1F北 女子トイレ
洗面コーナー

イエローベースにまとめたコーディネートと天井意匠にカーブを使った「楽しく、やわらかい雰囲気」の内装。洗面をアイランド式にすることで、開放感を演出している。水栓は衛生面に配慮した自動水栓を採用。

1F北 女子トイレ
大便器ブース

使用中の姿勢保持や、ケガをした児童などの立ち座りをサポートするL型手すりを設置したブースを1ヶ所設置。大便器はコンパクトですっきりしたデザインの、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。



1F南 バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクトオストメイトバックやパブリック用折りたたみシートも設置。さまざまな身体状況の方に対応できる器具を完備している。



2F北 男子トイレ

ベンチに荷物を置き、非接触で吐水する自動水栓でしっかりと手を洗うことができる。内装は1Fと同じくブルーベースだが、タイルなどを使用することで中学年への成長を感じる明るい雰囲気になっている。



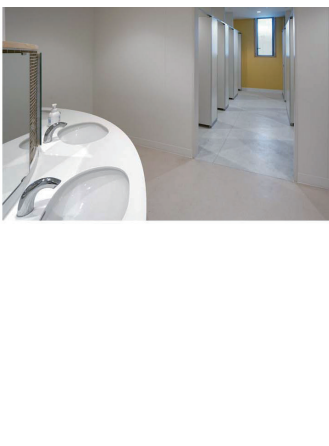
2F北 女子トイレ



1F女子トイレと同様に、イエローベースにまとめたコーディネートとしているが、モザイクタイルの種類を変更することで「明るい雰囲気」を演出。ベンチは荷物置き配慮や児童同士のコミュニケーションの場として使用。



2F南 女子トイレ



腰をかかめる姿勢がとりにくい方でも操作しやすいよう、座った状態で洗浄可能なリモコン便器洗浄ユニットを設置。2Fのみ擬音装置を後付けできるように、事前に電気工事を実施している。（壁面プレートの隠蔽部）



3F南 男子トイレ



高学年が使用する3Fトイレ。ブース扉に木目を用い「落ち着いた雰囲気」を演出。洗面の鏡高さは、児童生徒の成長を考慮して階ごとに変更。小便器は、床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛型自動洗浄小便器を設置。



3F南 女子トイレ

男子トイレ同様にブース扉に木目を採用。2・3Fの女子トイレは、大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高め「落ち着いた雰囲気」を演出している。

香春町立香春思永館（しえいかん）



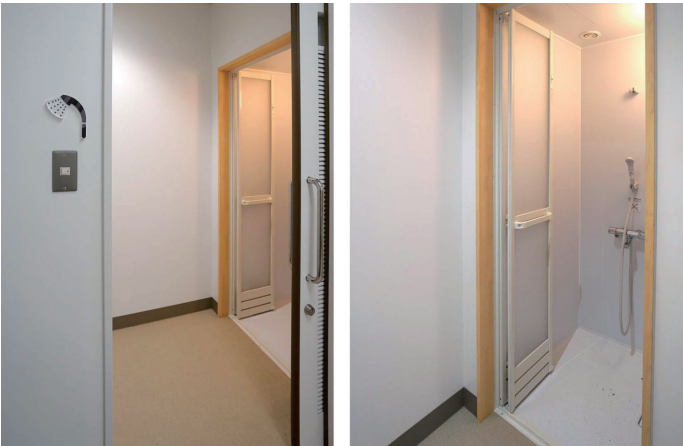
1F 教室内手洗い場

低学年の教室内に手洗い場を設置。手が汚れた際にすぐに手を洗うことができるよう手洗い励行に配慮している。水栓金具は、非接触で吐水する自動水栓を設置。



1F 男性職員トイレ

ホワイトで統一した内装で清潔感のある印象。洗面コーナーは2段のカウンターでドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮。さらに衛生面に配慮した自動水栓や、職員トイレのみにウォシュレットを採用している。



体育館 女性トイレ
更衣室

シャワーブースと脱衣スペースを用意した更衣室を設置。普段は部活動時に使用しているが、避難所となった際の使用も考慮している。



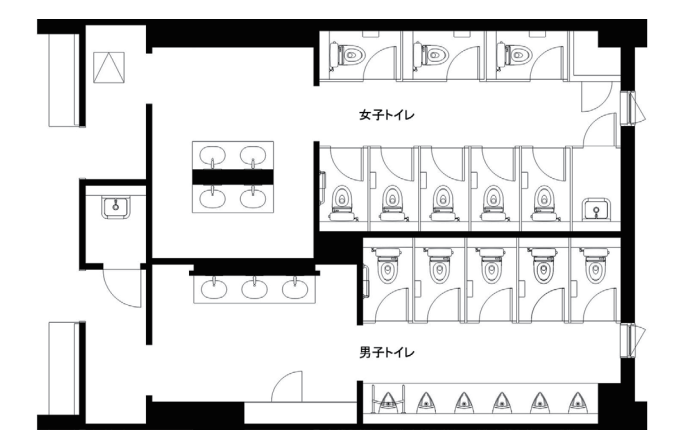
1F 女性職員トイレ 全体

白を基調とした清潔感のある空間。大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。



1F 女性職員トイレ
洗面・大便器コーナー

洗面横には身だしなみをチェックできるように全身鏡を設置。大便器のライニング上部は荷物棚として利用できる。また洗浄ボタンは、押すたびに発電し電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを設置。



1F北 トイレ図面



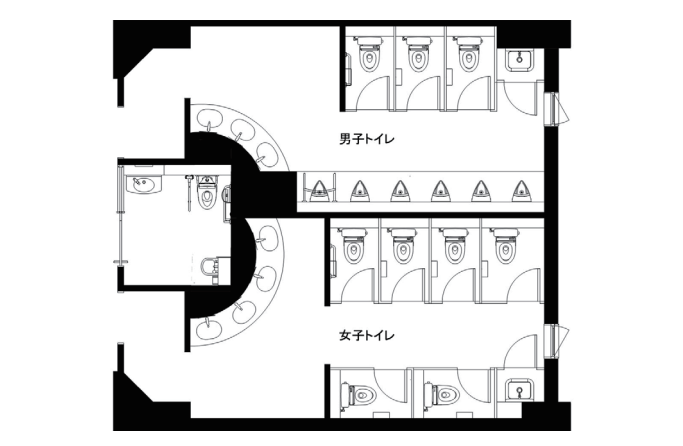
1F 保健室
トイレ・シャワールーム

保健室1と2の間にどちらからも利用可能な位置にトイレを配置。体調が悪いときやケガのとき支えとなるようにL型手すりや手洗器を設置している。シャワーブースは、ケガをしたとき、嘔吐や失禁などで汚れた際に使用。



体育館 女性トイレ
大便器ブース

災害時に体育館が避難所の拠点になることを考慮し、洋式便器を設置。また避難所になった際に、便器のつまりが多く発生することが問題視されているため、掃除口付き大便器を採用している。



2・3F南トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「香春町立香春思永館」は、福岡県の東北部に位置する香春町にある4つの小学校（香春・勾金・中津原・採銅所）、2つの中学校（香春・勾金）を統合して、2021（令和3）年4月に開校した9年制の義務教育学校。多くの有能な人材を輩出した小倉藩の藩校であった思永館を校名の由来とし、香春町唯一の施設一体型義務教育学校となる。香春町のシンボルとして「香春町みんなの学校」を標榜、地域との連携を深め、9年間を通してこどもの成長を支える。学年のまとまりを重視し、各学年毎にユニット化。中庭を中心に「学年ユニット」を配置し、学年ごとの生活・学習カリキュラムの違いや学級間の交流、特別教室の動線に配慮しながら、学習への興味・関心を促すように、機能的で明快な平面計画がなされている。

水まわりの特長

各学年、児童生徒の成長にあわせて配置されたトイレは、学年によって内装を工夫することで雰囲気を変えて計画。学校にまだ慣れない低学年は「楽しく、やわらかい雰囲気」、中学年は元気のある「明るい雰囲気」、高学年は木目を用いた「落ち着いた雰囲気」をイメージし、授業の間のリフレッシュできる空間とし、洗面の鏡高さも身体の成長にあわせて設定されるなど、きめ細やかな配慮がなされている。また、衛生面の配慮として、各学年の廊下に設置している手洗い場には、すべて非接触の自動水栓を選定。低学年においては教室内にも手洗い場を設け、すぐに手を洗える配慮がされている。当初、和式便器を各トイレ1ヶ所ずつ設置することになっていたが、昨今のニーズや維持管理面を考慮し、全洋式便器としている。

建築概要

名称	香春町立香春思永館（しえいかん）	
所在地	福岡県田川郡香春町大字高野1431	
施主	香春町	
設計	株式会社 梓設計	
施工	建築	株式会社共和建設工業（校舎棟） 株式会社江藤（体育館・学童棟）
	電気	きたせつ・ワコー電設特定建設工事共同企業体
	空調	永和・英特定建設工事共同企業体
	衛生	石見・香英特定建設工事共同企業体
	浄化槽	松井設備

竣工年月	2021年3月
敷地面積	37,764㎡
建築面積	6,932㎡
延床面積	12,145㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC
ウォシュレットPS（温風乾燥付きエコリモコン）:TCF5554系
ウォシュレットP:TCF589AUY
棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900系
ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
洗面器:L532系、L350C
壁掛洗面器:L270CM
台付自動水栓:TENA40AW
コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB1NW
パブリック用折りたたみシート:EWC500R系
パブリック用手すり:T112CL10、T112CL11、T112HK7R